

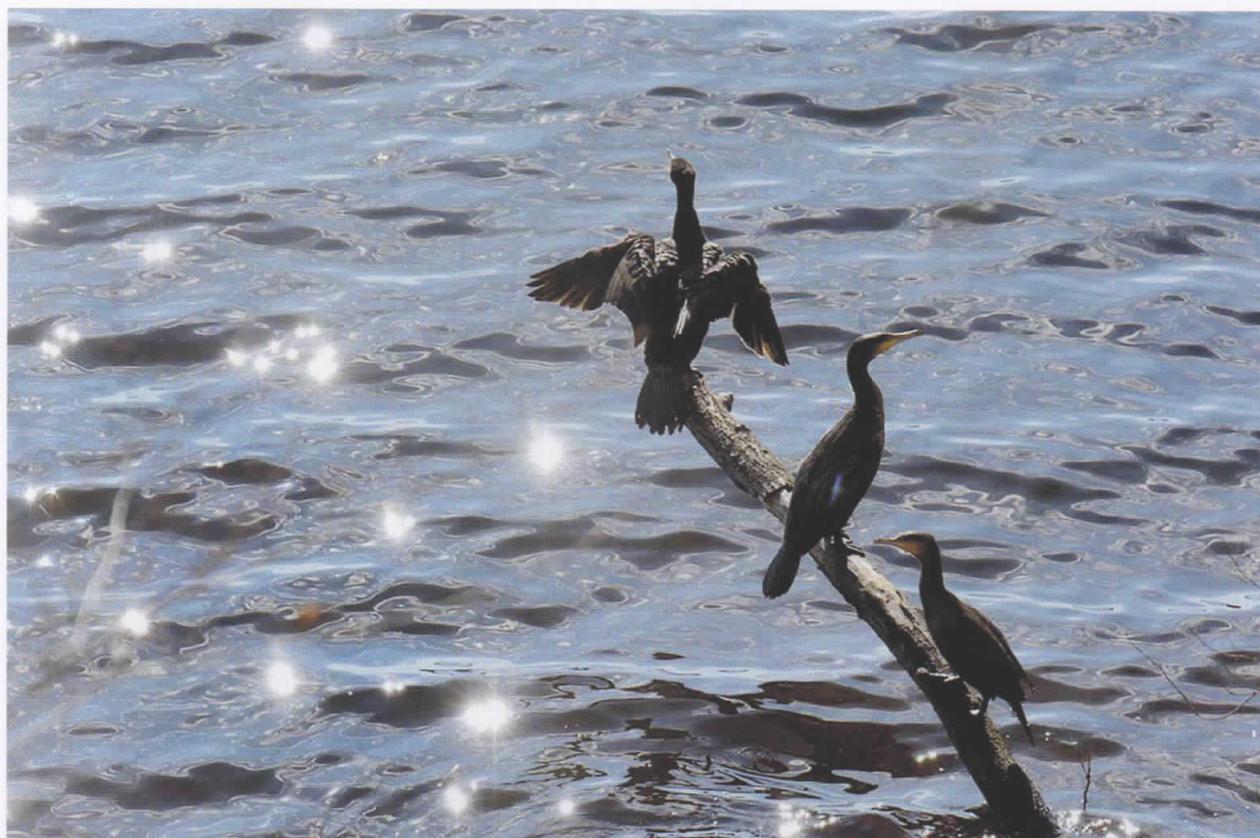
月刊 やちまなこ

2018.11.15 発行

No.252

11月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

落葉を踏みしめながら歩く頭上を次々と雲が流れ蒼く澄んだ空に渦を巻いたり、ちぎれたり形を変え、やがて湿原の奥へと消えて行く。陽射しを受けて輝く湖面に水鳥たちの集う姿が見え、例年より冬の訪れが遅いせいか、茶色い色彩を放つヨシに囲まれた中でのんびりと羽を休めていた。

岸边近くにある流木にはカワウが止まり、餌を食べ終えて濡れた体を乾かしているようで、翼を広げ始めた体に応えるかのようにキラキラと輝く陽射しは、まるでスポットライトのようだった。



塘路フィールドノート【10/15～11/14】

【野鳥】

晩秋の塘路湖とシラルトロ湖は水鳥たちで賑わっています。さらに先日、冬の使者オオワシの飛来も確認しました。湖面を賑わす水鳥たちと上空から獲物を狙う猛禽類。野鳥たちの賑わいは湖面が凍り付くまで続きます。



オオハクチョウ (シラルトロ湖)
カモの群れに囲まれて羽を休めているところ。湖の北側で30羽ほど確認しました



(オオ) ヒシクイ (コッタロ湿原)
独特の鳴き声とともに上空を通過していった小群。きれいなV字を描いていました



ユリカモメ (塘路湖)
濃い霧の中、目の前を通過していきました。水面にダイブして採餌する姿をよく見ます



カワアイサ (塘路湖)
エクリプスと思われる個体。センターの目の前で何度も潜水を繰り返していました



キンクロハジロ (塘路湖)
眠っていてこちらに全く気付いていなかった♀。この秋、塘路湖での確認は初でした



ホオジロガモ (塘路湖)
数は多くないものの、見つけやすいカモ。センター近くにいるところをよく見ます



カワセミ (塘路湖畔)

湖上に突き出した枝の上にいるところを見つけました。湖面を見つめて獲物を物色中?



(ミヤマ) カケス (塘路湖畔)

センター近くの芝生をうろろろしていました。ちょうどドングリをゲットしたところ



ヤマゲラ(上)とモズ(下) (塘路湖畔)

幹を登っていったヤマゲラと枝の上にいるモズが鉢合せ。お互いに驚いたようです

【植物】

昨年よりやや遅れ気味だった今年の紅葉・黄葉ですが、10月も終わりを迎える頃、ようやく見頃を迎えました。11月の中旬を迎えた現在は、色とりどりの葉はすっかり落ち、塘路湖畔は冬枯れの景色に変わってきています。



ミズナラ (塘路湖畔)

塘路湖畔で稀に見られるミズナラの紅葉。艶のある淡い色合いは独特の味わいがあります



ニシキギ (塘路湖畔)

鮮やかに色付いたセンター前の木。塘路湖畔で紅葉シーズンの終盤を飾ります



カラマツ (塘路湖畔)

昨年に比べるとやや寂しかった今年の黄葉。見頃の時期も短かったような気がします

【動物・昆虫】

今年の秋は暖かいせいか、11月の中旬になっても昆虫たちが活発に動き回っている姿が見られます。一方、動物たちは現在冬の準備に大忙し。活動的になった動物たちが車道近くに出てくるところもよく見かけます。



エゾシカ (コッタロ湿原)

道端で見つけた親子。時折こちらを気にしながらも、悠々と草を食べて続けていました



エゾシマリス (コッタロ展望台)

斜面を颯爽と駆け下りてきたところ。落ちていた木の実を夢中でほおぼっていました



エルタテハ (あるこっと)

センター内の窓際で発見。例年、この時期になると、越冬場所を探して迷い込んできます

■バードカービング・作品に思いを込めて



9月から開催している「バードカービング初心者講座」も11日で3回目となり、徐々に鳥の姿になってきました。今回は頭や尾羽、目など各部分の制作について、講師の沢田正雄さんから説明を受けながら作業を進めました。全体のバランスに注意しながら頭部の形や尾の部分の羽の重なりと厚さに注意して削ることや目の位置は嘴と左右のバランスを確認することを教えてもらいました。丸刃を使い目を表現する過程では切り込みながら、周囲を平刃で削り仕上げる際には各自慎重に削り、使う彫刻刀や使い方の説明を受け、作業を進めました。講座も佳境に入り、「大変ですけど出来上がりを楽しみます」と参加者から感想がありました。

■渡り鳥でにぎわうシラルトロ湖で観察会を開催

10月27日(土)、講師に釧路市こども遊学館の角田真穂さんを迎え、シラルトロ湖で今シーズン最後の野鳥観察会を開催しました。渡り鳥の飛来も最盛期を迎え、開始直後からオオヒシクイ、オオハクチョウ、4種類のカモ、カワウ、さらにオジロワシなどを順調に観察できました。しかし、一時間ほどすると、懸念されていた雨が強くなり、仕方なく観察を切り上げてシラルトロ自然情報館へ避難。昨年に続く途中切り上げとなってしまいました。

しかし、今年の観察会はただでは終わりません。講師の角田さんが悪天候に備えて野鳥の標本を用意してくれており、残りの時間はその標本を使って、野鳥の体の仕組みや生態についてお話をいただきました。野鳥の視力や色覚が人間よりはるかに優れていること、フクロウが夜に音を立てずに飛べる理由など、目からうろこのお話の連続に参加者一同熱心に聞き入っていました。

参加者6名



12月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

◎バードカービング初心者講座 4回目

[日 時] 12月2日(日) 11時～15時

[定 員・参加料] 前回参加者の方

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

☆冬の植物を見に行こう

[日 時] 12月9日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

☆申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで (0154-65-2323)

◆日出・日入時間 10/15(5:35,16:41).10/31(5:55,16:17).11/14(6:13,16:00)

～編集後記～

■紅葉シーズンも終わり、朝の気温が氷点下となった日には、キラキラと霜が輝くころとなりました。冬の訪れとともに、時折センター上空を飛ぶオジロワシ、オオハクチョウ、タンチョウなどの姿が見られます。センターレクチャールームでは25日まで、巡回展「タンチョウイラスト展」を開催しています。釧路管内小中学生の描いた作品780点を展示しています。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム  torokoemc

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料